



平成31年2月定例会付議予定議案



招 集 日

平成**31**年**2**月**20**日(水)

議 案

47件

〔 予算(21)、条例(19)、財産の取得(1)、
事件議決(6) 〕

【主な内容】

- 平成31年度一般会計予算
- 平成30年度一般会計補正予算（国の補正予算に伴う補正）



平成31年度当初予算案



～ 新時代へのチャレンジ予算 ～

輝け100年人生

スマート社会の実現

魅力的で
持続可能な埼玉

一般会計 **1兆 8,884 億 6,000 万円** 前年度比
+1.2%

(全会計合計 **3兆 4,789 億 882万9千円**) 前年度比
+2.5%

同時提案

13か月予算による切れ目ない公共事業の実施（平成30年度2月補正）

一般会計 **99 億 2,454万円**



子供の居場所づくりと貧困の連鎖解消

一部新規

「子ども食堂」など多様な子供の居場所の拡大

164か所 → **800か所** 2,954万円
(H30.8末時点)

気づく

・「こども食堂フォーラム」やポータルサイト等による情報発信

始める

・出前講座等による担い手の発掘と活動先紹介

支える

・「子供の居場所づくりアドバイザー」による立ち上げ支援

・「こども応援ネットワーク埼玉」による社会貢献活動促進



子供の居場所づくり アドバイザー

子供の居場所

子ども食堂

無料塾

子ども食堂
運営者

- ・立ち上げ・運営支援
- ・衛生管理のアドバイス
- ・ネットワークづくりの支援

食品衛生
専門職

地域の関係者
様々な社会資源

フードバンク 市町村・社協

団体・NPO 企業



新規

ジュニア・アスポートの普及促進

5,389万円

ジュニア・アスポート
モデル事業

学習支援

+

生活支援
体験活動
食育・居場所

市町村への支援等

- ◆ 市に事業費の一部を補助
- ◆ 市町村にコーディネーターを派遣
- ◆ 県が町村教室を設置（2教室）

全市町村へ展開

ジュニア・アスポートと連携

新規

体験活動による子供の生きる力の育成

683万円

職業体験
プロによる



げんきプラザで
自然探検





児童虐待への対応と保育士確保対策

新規 児童虐待防止対策の充実 5,797万円

◆ 警察との連携強化

全国初

児童相談所と警察署間において児童虐待情報を共有



◆ 市町村における相談体制の強化

児童福祉司・児童心理司などの経験者を市町村へ派遣

◆ 民間との協働による泣き声通告などへの対応

児童の安全確認のうち、リスクの低い案件を協働で対応

拡充 里親委託の推進強化 4,396万円

◆ 里親への包括的な支援の拡大

民間との協働により里親の募集から委託後のサポートまで、包括的な支援を拡大（1児童相談所 → 2児童相談所へ）

◆ 里親委託強化推進員の配置

里親委託への実親の同意を助け、委託を推進

一部新規 児童養護施設等における受入体制支援 4,774万円

◆ ケアニーズの高い入所児童に対して医師等を派遣

◆ 乳児院での緊急受入のための保育士人件費を補助

拡充 高まる保育需要に対応した保育士確保対策の推進 8,924万円

◆ 新卒保育士向け就職準備金貸付事業の創設（1人当たり20万円・2年間勤務で返済免除）

◆ 保育士宿舍借上補助事業の人数制限の廃止（現行1人まで → 制限なし）





様々な環境にある人やシニアへの支援

新規 シングルマザーなどひとり親家庭の支援

◆ ひとり親家庭に役立つ情報を発信

「ひとり親あんしんサポートカード（仮称）」を配付し、「まいたま」を通じて、情報発信



QRコードで「まいたま」に誘導

9,123万円



◆ 就職スタートアッププログラム

業務体験等でシングルマザーの就職マッチングを強化

◆ ひとり親世帯への住宅供給

県営住宅を4年間で700戸供給（H31：100戸）

一部新規 就職氷河期世代などの就職等の支援

3,873万円

◆ 就職氷河期世代の就職支援

正規雇用に向けたマッチング

◆ 若年無業者の就職に向けた支援

若者自立支援センター埼玉の体制を拡充

◆ 企業向け相談会の開催

多様な人材確保など、働き方改革を推進する企業向け相談会を開催



合同企業説明会

新規 人口減少が著しい地域への移住等の支援

◆ 県内9市町村への移住や起業への助成

1億2,752万円

（地方創生推進交付金活用）

東京圏から移住し、中小企業に就職した者等に最大100万円を支給
起業する者に創業に要する費用として最大200万円を補助



一部新規 セカンドライフの充実支援

2億2,110万円

◆ 人生100年時代を楽しむ推進事業

豊富な経験
高度シニア人材

大学院
レベル
の講座

社会的
起業

都内へ通勤
埼玉都民

都内で
セミナー

地域
デビュー

◆ セカンドキャリアセンターによる就職支援



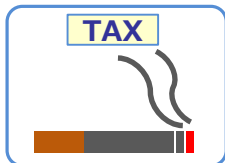
就職相談



健康長寿社会に向けた取組

新規 健康づくり安心基金関連事業

3億7,285万円



県たばこ税収入額の5%相当額



◆ 健康関連施策の推進

- 健康長寿埼玉プロジェクトの推進
- がん検診の受診率向上
- がん対策総合推進事業

◆ 受動喫煙防止対策の推進

- 新たな認証制度の創設



【九都県市共通ロゴマーク】

◆ 保健・医療情報の活用

- 国保データベースを活用した医療提供体制のあり方検討



誰もが健康で生き生きと暮らすことができる社会づくりを推進

新規 県立病院の機能拡充

4億5,866万円

◆ 循環器・呼吸器病センターに「脳神経センター」を設置

脳卒中の脳血管内治療の提供体制を整備

◆ がんセンターに総合診療体制を構築

心臓疾患、糖尿病を併発するがん患者の受入体制を整備



循環器・呼吸器病センター

がんセンター



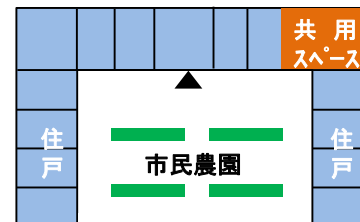
新規 高齢単身者モデル住宅の供給

1,344万円

◆ 県営住宅でモデル住宅を検討

高齢者が人との交流を通じて、いきいきと暮らせるモデル住宅を検討

- カフェや市民農園による交流の機会づくりの試行
- 課題整理や設計方針の検討



(モデル住宅イメージ)



安心・安全を守る取組

【拡充】 犯罪被害者支援の強化 2,805万円

◆ 性犯罪被害者支援の充実強化

専用相談電話「アイリスホットライン」を24時間365日化

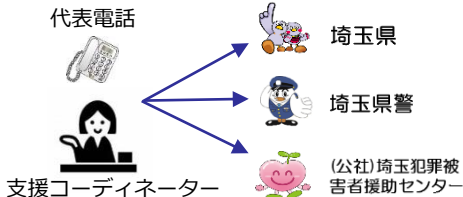


◆ 市町村支援の強化

市町村犯罪被害者等支援総合的対応窓口の職員研修の強化

◆ 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センターの機能強化

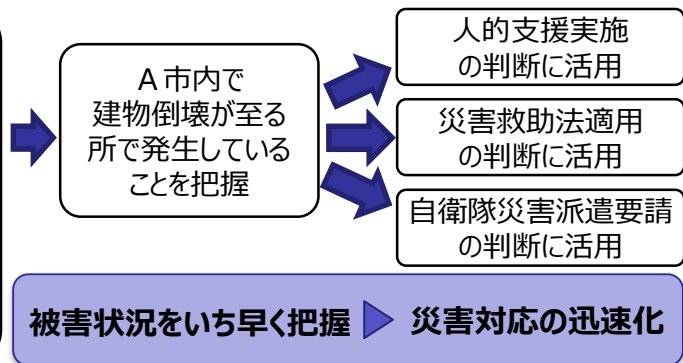
ワンストップ支援センターに支援コーディネーターを配置、相談者のニーズに沿った支援を実施



【新規】 災害時の情報収集の強化 446万円

◆ SNSで災害情報を発信する「SNS災害情報サポーター」の確保・育成

- ・ 消防団員など防災知識のあるサポーター（約2万人）
- ・ 県民サポーター（全県民）



【一部新規】 運転免許証更新時の高齢者講習受け入れ枠の拡大 6億7,001万円

◆ 運転免許センター講習施設拡張

高齢者講習の受講枠増加 (23,040人/年)

◆ 予約一元化システムの構築

認知機能検査・高齢者講習予約の効率化

◆ 高齢者講習施設設置の検討

新たな高齢者講習施設設置に向けた基本構想を策定





AIやIoT、ロボット等の導入によるスマート化

新規 AIを活用したきめ細やかな学習支援 8, 182万円



一部新規 農業のスマート化 2, 237万円

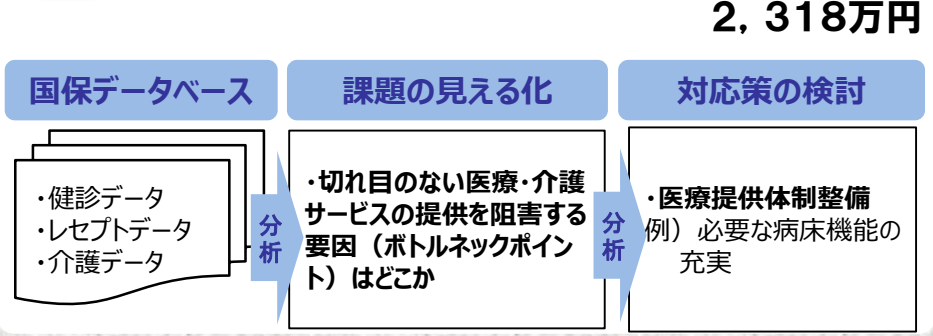
◆ AIを活用した茶生産技術の開発
気象・土壌・茶樹等のデータを集積し、AIを活用して最適な茶の生産管理システムを構築

◆ AIやドローンの活用
梨の摘果判断アプリを開発
ドローンを活用し米麦栽培の省力化と安定生産技術を開発

茶園環境センサー

スペクトルカメラ

新規 ビッグデータを活用した医療体制の検討 2, 318万円



新規 AI導入による犯罪捜査の効率化 1, 984万円



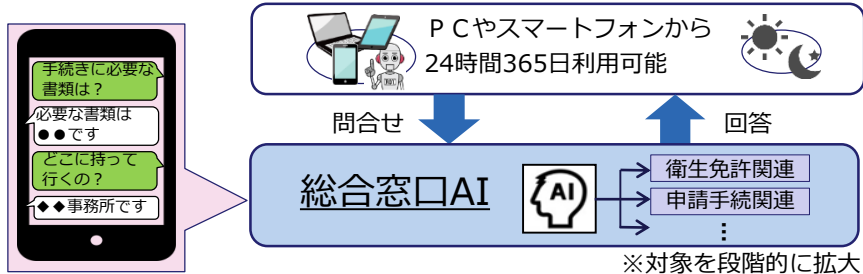


AI等による県民サービスの向上と業務効率化

～みんなで実感 スマート社会～

新規 県民向け問合せAIの構築 8,412万円

◆ 県民からの問合せ、相談にAI自動応答システムを導入



新規 災害対策アプリの提供 6,013万円

◆ 防災ハンドブックをスマホアプリとして提供

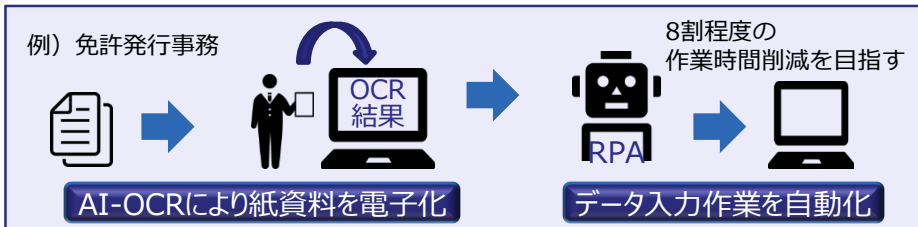


～更なる県庁のスマート化～

拡充 新技術の導入による業務の自動化 2,977万円

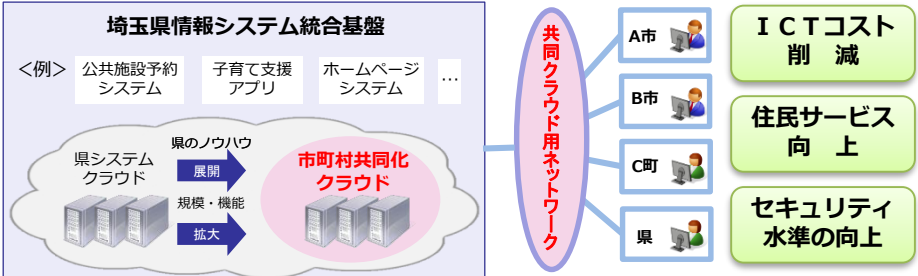
◆ RPA (定型事務を自動化) の適用事務を拡大 例) 照会のとおりまとめなど

◆ OCR (紙資料を電子化) によりさらにRPAの適用事務を拡大



新規 市町村情報システム共同クラウド化 8,300万円

◆ 県のクラウドシステムを市町村と共同利用





平成31年度 当初予算 魅力的で持続可能な埼玉① ~ラグビーW杯やオリ・パラなどによる魅力創出~



ラグビーW杯とオリンピック・パラリンピックへの対応

ラグビーワールドカップ2019


15億9,074万円

◆ 気運醸成と円滑な大会運営

- 気運醸成（開催100日前イベント、開催直前イベント等）
- 公認チームキャンプ地の整備（練習グラウンドの仮設整備等）
- テストイベント（9月6日 日本代表壮行試合等）
- 大会運営（ボランティア、公園内の警備・救護業務、おもてなしエリア等）

◆ 大会後のレガシーの創出

- 大規模大会開催に向けたラグビーグラウンド等の整備（電光掲示板の設置等）

| 日本代表壮行試合 日本 対 南アフリカ | 熊谷ラグビー場 開催日程 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
|  | ○9/24 (火) 19:15 🇷🇺 ロシア 対 🇻🇹 サモア |
| | ○9/29 (日) 14:15 🇯🇵 ジョージア 対 🇺🇲 ウルグアイ |
| | ○10/9 (水) 13:45 🇦🇷 アルゼンチン 対 🇺🇸 アメリカ |

東京2020オリンピック・パラリンピック

11億8,408万円

◆ 施設環境の向上

- ・さいたまスーパーアリーナの整備（オリンピックカラーでライトアップ等）
- ・埼玉スタジアム2002の整備（遮熱性塗料の塗布、ミストシャワーの設置）

◆ 気運醸成など

- ・気運醸成（1年前イベントの開催、大会期間中イベントの実施準備等）
- ・ボランティア（都市ボランティアに対する研修の実施等）
- ・キャンプ誘致・宿泊対策（本県独自の取組「埼玉県版ホームステイ」運営体制の整備等）
- ・文化プログラム（埼玉WABI SABI大祭典2019の開催等）

| さいたまスーパーアリーナ （バスケットボール） | 埼玉県版ホームステイ |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |
| ※画像編集したイメージ写真 | |



埼玉の魅力発信

新規 「酒」に着目した産業・観光振興 2,114万円

- ◆ 県内で唯一、5種類の酒を生産する秩父地域で酒に着目した各種事業の展開を支援
(ちちぶ乾杯共和国)
- ◆ これを軸として県内の酒関連産業・観光を活性化



『酒どころ埼玉』を内外にPR！

新規 まち並み景観形成の加速化 1,421万円

統一感のあるまち並みを3年間で完成
⇒ 「つくって、あるいて、みてもらう」

【整備イメージ】



【モデル区間 1区間】

- ◆ 市町村が行う「まち並み景観づくり」を支援
・建物等を改修する工事への助成 など

新規 こども動物自然公園キリン舎リニューアル 8,000万円

- ◆ 開園40周年に向けキリン展示を一新
・より近くで大きさが実感できる展示 (屋内ガラス越し展示など)
- ◆ ドキドキするような餌やり体験施設を整備

キリン展示イメージ



新規 外国人旅行者の滞在強化とおもてなし向上 2,968万円

- ◆ 救急病院等に電話通訳サービスを提供

救急病院等



電話通訳が24時間対応

通訳センター



- ◆ 外国人に埼玉ならではの体験を提案
・海外旅行サイトを活用した体験型旅行商品のPR・販売



災害への備えと環境への配慮

災害に強い埼玉の構築

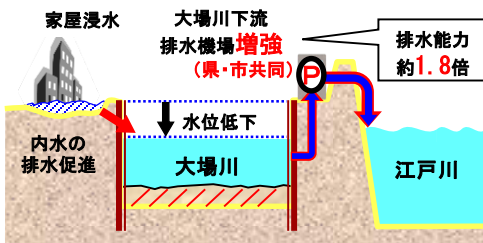
環境にやさしい埼玉の構築

新規・拡充 地震や水害への備え

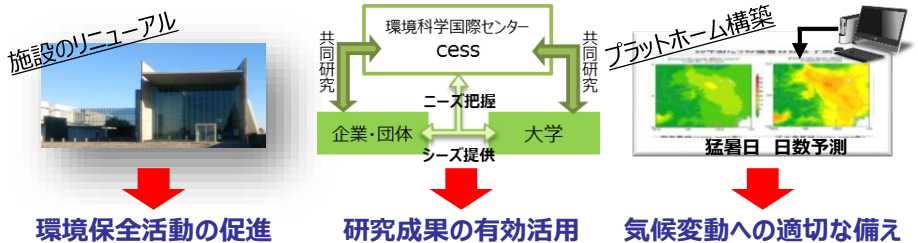
新規 環境科学国際センターの情報発信力強化 1億931万円

- ◆ 橋りょうの耐震補強の推進 29億650万円

- ◆ 縣市連携による浸水対策 6億9,000万円



- ◆ 展示館の魅力向上
- ◆ 地域・民間との連携強化
- ◆ 地域気候変動適応センターの運営



新規 猛暑に対する備え

2億1,364万円

新規 マイクロプラスチックの削減

1億2,932万円

- ◆ 埼玉スタジアム2002公園における暑さ対策

- ・ 北広場を遮熱性塗料塗布
- ・ ミストシャワーを設置
- ◆ 中小企業等の暑さ対策
- ・ 中小企業等の断熱対策等へ助成
- ・ 環境科学国際センターで温度変化等を検証



- ◆ 先行モデル地区でのプラごみ削減活動

- ・ 河川で網等を使ってごみを回収
- ・ ごみを分類し実態把握、結果を周知
- ◆ 河川水中のマイクロプラ調査・発生源対策
- ・ 東京湾に流れ込む荒川など5河川10か所で調査



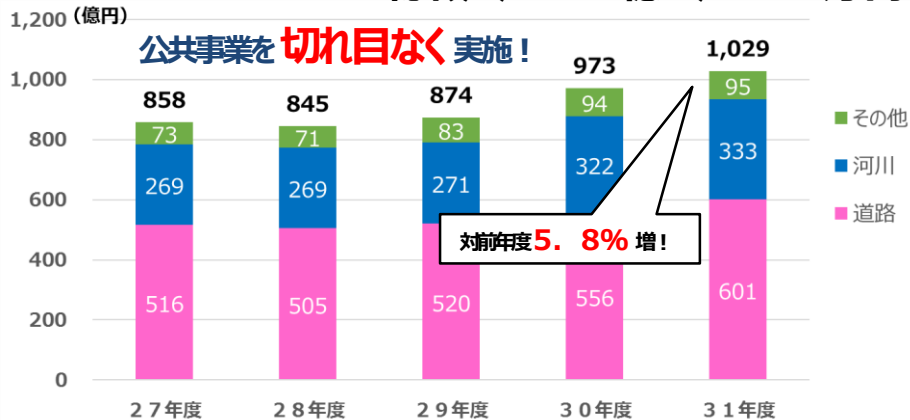
- ◆ 環境対応プラスチックへの転換に取り組む県内製造業者に対する技術支援、製品開発等への補助



防災・減災対策や基盤整備の充実

◆国補正予算を活用した13ヶ月予算

総額1,029億1,167万円



重要インフラ点検を踏まえた防災・減災緊急対策を増額



河川の樹木を伐採



新規 春日部駅周辺の連続立体交差化

4億9,395万円

県内ワーストの「開かずの踏切」



遮断時間
最大56分/時

駅周辺踏切の混雑

10箇所の踏切がゼロに!!



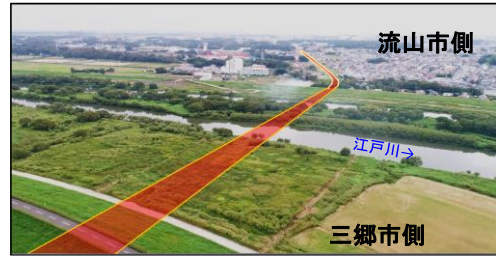
整備イメージ

新規 三郷流山橋有料道路の建設

開通 平成35年度 予定 道路公社への出資金 1億4,262万円



流山橋の渋滞状況



流山市側

三郷市側



地域の経済活性化と企業誘致の推進

【拡充】農大跡地等への先端産業等の集積

43億655万円

◆農大跡地

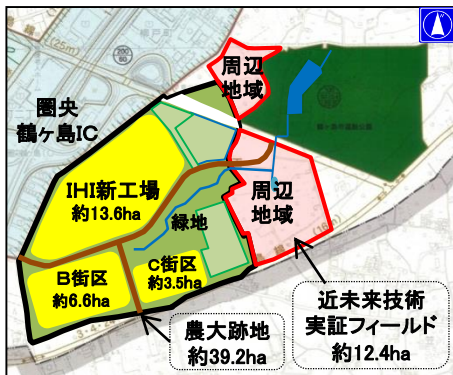
- ・土地区画整理事業（造成工事等）
- ・環境影響事後調査 など

◆周辺地域

- ・近未来技術（ドローン・自動運転等）実証フィールドの整備

◆鶴ヶ島JCT周辺13市町

- ・LPWAを活用したIoT化の促進
- ・AI技術等の利用環境整備
- ・AI・IoT人材の育成
- ・地域経済牽引事業者へのAI・IoT等導入支援



【新規】新たな産業団地の整備

122億3,458万円



旺盛な企業立地需要に 応えるために早期整備

- エントリー＆オーダーメイドで企業ニーズを取り込む
- 既存インフラを活用する「既存団地拡張モデル」を展開
- 地元の拡張ニーズもつかんで他県との競争に勝つ

| | | |
|-----|----|------|
| 富士見 | 鴻巣 | 56ha |
| 寄居 | 羽生 | |

【新規】ジェトロ埼玉の誘致

1,600万円

◆日本貿易振興機構(ジェトロ)県内事務所を誘致

ジェトロの海外54か国74事務所を活用し、

幅広い国や新たな分野（非製造業等）

での県内中小企業の海外展開支援を強化

■主な支援内容

- ・ 先端プロジェクト製品の欧米等への販路開拓支援
- ・ 県産日本酒や農産物の輸出支援
- ・ 県内市町村と連携した地場産業や観光等の魅力発信
- ・ TPP11、日EU・EPA等への対応支援

JETRO





埼玉農業の競争力強化

新規 埼玉野菜の産地強化

9,891万円

◆ 農地の集約化による埼玉野菜の生産拡大

産地の核となる農業法人へ機械化一貫体系の導入支援

(例) ねぎの機械化一貫体系



移植機



収穫機



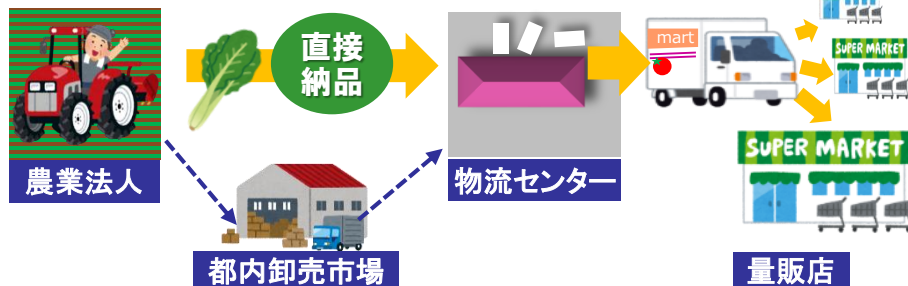
調整機

新規 新たな流通システムの構築

399万円

◆ 新たな流通体制による鮮度保持と輸送コスト低減

農業法人から量販店の県内物流センターへ農産物を直接納品する流通体制の構築を支援



一部新規 優良種子生産体制の確立

3,211万円

◆ 主要農産物の種子生産体制の強化

【1年目】種子の生産体制の強化に向けた計画作成支援

【2年目】新たな生産体制を実現する専用機械の導入支援



県産米の競争力強化
県民への食糧の安定供給

